

《和歌山市学校教育指針》
 ○確かな学力の育成
 ○道徳教育の充実
 ○健やかな体の育成
 ○特別支援教育の推進
 ○不登校・いじめ問題の解消
 ○子供の安全確保の徹底
 ○地域と共にある学校づくりの推進

《保護者・地域の願い》
 ○学校からの情報発信を増やしてほしい。
 ○読書好きの子供を増やしてほしい。
 ○情報モラルについて、保護者にも啓発してほしい。
 ○地区の子供を守る会の方々と意見交換を行い、登下校の状況を把握してほしい。
 ○親子で体験できる活動を取り入れてほしい。

【 学校教育目標 】

心身ともにたくましく、豊かな人間性を身につけ、自ら学ぶ子供を育てる

【めざす児童像】
 1年:だれとでもなかよくできる子
 2年:なかよくたすけあう子
 3年:よく考え、助け合う子
 4年:助け合い、ともに伸びる子
 5年:自分で考え、進んで行動する子
 6年:責任をもって意欲的に行動する子

《前年度の学校評価》
 ○HPの更新を定期的にしてほしい。
 ○道徳は子供達の正直な気持ちを伝え合う場にする。
 ○基礎学力向上への取組を校内で統一していくべき。
 ○感染症や熱中症への対策を引き続き行いつつ、これまでの教育活動をできるだけ工夫して実施していく。

《児童の実態》
 ○素直で明るく活動的である。
 ○全体的にあいさつを苦手としている。
 ○学年が上がるにつれ、自尊感情が低下する傾向にある。
 ○どの学年も落ち着いて学習に取り組んでいるが、基礎学力の定着と書く力に課題がある。

重点目標	<p>地域とともにある学校 ◎学校だより・ホームページの発行・更新を通して、学校の情報を発信していく。 ○地域の方々との交流を計画的・積極的に進める。</p>	<p>豊かな心 ◎図書館教育の推進を継続する。 ○道徳教育を計画的に進める。 ○豊かな体験活動の充実を図る。</p>	<p>確かな学力 ◎子供たちの話し合い活動を重視した授業改善に努める。 ○基礎学力の定着を目指す。 ○6年生において教科担任制を導入する。 ○算数の習熟度別少人数学習を5年生にも拡大する。</p>	<p>健やかな体と安全の確保 ◎児童の安全確保のために、感染症及び熱中症への対策を十分に講じつつ、これまでの取組を計画的に行う。 ○体力の向上を目指す。</p>
具体的な取組	<p>◎校長の思いや願い、学校の方針や考えを学校だよりやホームページに載せることで、保護者の学校への関心を高めるとともに、理解と協力を得られるようにする。 ○本校の公開指標に則して、ホームページを適宜更新していく。 ○開放月間の目的を積極的に告知して来校者を増やす。 ○保護者・地域の方に学校へのボランティア活動を依頼するとともに、校長自らが積極的にコミュニケーションを図っていく。</p>	<p>◎子供達の素直な気持ちを伝え合う場となるよう、話し合いを中心に据えた道徳の授業を創っていく。 ○これまでの経験を生かして学校図書館の環境づくりを継続し、読書活動の充実・推進を図る。 ○学校や家庭、地域の場において、児童が体験活動を行えるように工夫する。 ○清掃活動やあいさつ運動を大切にする。</p>	<p>◎話し合いを中心に据えた研究授業を行う。 ◎5、6年生の算数において、習熟度別少人数学習を行い、学習意欲を高める。 ○基礎学タイムに行う内容を校内で統一する。 ○放課後フォローアップを4年生にまで拡大する。 ○市や県からの配付・配信されたテスト・問題等を確実に実施する。</p>	<p>◎換気・手洗いの徹底を継続する。 ○こまめな水分補給と登下校時におけるマスクを外す条件を理解させる。 ○地震・火災・不審者侵入に対する避難訓練を計画的に実施する。 ○登下校時の安全に対する意識を高めさせる。 ○保護者や地域に情報を早く正確に伝えることに努め、理解と協力を仰いでいく。 ○陸上競技大会等へ積極的に参加することで運動への意欲を高める。</p>
指標	<p>学校評価アンケート項目「学校は、学校の教育活動や子供の様子を保護者にわかりやすく伝えている」において、『思う方』の回答が75%を超える。</p>	<p>・図書室への総来室者数⇒前年度を維持 ・保護者アンケートで学校教育・生活でのルールやマナー、モラルに関する設問にて、前年度より「わからない」という回答を減らす。</p>	<p>県学習到達度調査の結果が県の平均を上回る。</p>	<p>学校評価アンケート項目「学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を十分行っている」において『思う方』の回答が85%を超える。</p>

◎・・・重点的に取り組むこと